

漁業士育成事業

目的

近年、漁業技術の高度化や栽培漁業技術の普及、さらには資源管理に基づいた計画的な営業方法の導入等、より多くの高度な知識や技術の修得が求められるとともに、地域の共同化意識等若い後継者層の一層の資質向上が急がれている。

そのため、この事業はこれらの資質を有し研究グループ等のリーダーとして、地域漁業振興の中核的漁業者となりうる青年を「青年漁業士」として、また、現に自ら優れた漁業経営を行ない、漁村青少年の育成に指導的役割を果たしている中核的漁業者を「指導漁業士」として県知事が認定し、併せて、これらの者により地域漁業の担い手に対し指導援助する活動等を行なう。

青年漁業士研修講座の開設

青年漁業士は青年漁業士養成のための講習を受けなければならない。青年漁業士講座は漁業養殖全般にわたる基礎的な技術・知識を付与するための「一般コース」、部門別に高度な専門的技術・知識を付与するための「専門コース」及び部門別に経営管理と集団指導に関する技術・知識を付与するための「経営管理コース」をそれぞれ研修する。

本年度は次の日程で講座を開設した。

平成元年度青年漁業士研修講座

時 期	時 間	講 座 名	講 師 名	所 属 役 職
平成元年 9月26日	10～12	航海計器	堤 知 良	古野電気 主査
	13～15	水産流通論	金 城 興太郎	オキコフーズ(株)社長
	15～17	水産増養殖概論	友 利 昭之助	県水産試験場次長

時 期	時 間	講 座 名	講 師 名	所 属 役 職
平成元年 9月27日	10～12	漁業経営概論	上 田 不二夫	県立水産高校教諭
	13～15	漁業資源論	伊野波 盛 仁	県水産試験場場長
	15～17	水産業協同組合論	比 嘉 秀 雄	県漁政課団体金融係長

時 期	時 間	講 座 名	講 師 名	所 属 役 職
平成元年 9月28日	10～12	水産制度概論	下 地 敏 彦	県漁政課課長補佐
	13～15	指導方法	上 原 佑 強	県指導漁業士
	15～17	集団討議	瀬 底 正 武	水産業専門技術員

認 定

青年漁業士（前記講座を終了した者）及び指導漁業士の認定にあたっては、県知事が認定証を交付する。

本年度漁業士の認定式は平成2年1月17日に那覇市内の水産会館で開催され、5名の新漁業士（指導漁業士2名、青年漁業士3名）に農林水産部平田毅次長より認定証が授与された。これで、県内の漁業士は23名（名誉漁業士1名、指導漁業士8名、青年漁業士14名）となった。また、平成元年11月10日には沖縄県漁業士会も結成されたことから、漁業士の今後の活躍をなお一層期待します。

平成元年度認定漁業士

漁業士区分	氏 名	年齢	所 属	漁 業 形 態
指導漁業士	宮 里 義 高	47	伊 江 漁 協	追込網、定置網
指導漁業士	玉 城 光 義	41	八重山漁協	一 本 釣
青年漁業士	島 袋 一	35	恩納村漁協	ヒトエグサ・モズク養殖
青年漁業士	金 城 廣 次	32	恩納村漁協	曳縄・モズク養殖
青年漁業士	比 嘉 康 雅	33	八重山漁協	一本釣・ヒトエグサ養殖



今年度認定された漁業士の皆さん

（左から）金城、比嘉青年漁業士、玉城指導漁業士、島袋青年漁業士、宮里指導漁業士（敬称略）

交流学習会、青年水産教室等講習会実施状況

(昭和55年～平成元年度)

年度	事業名	課題	所	所属	名	実施時期	実施場所	参加人数	備考
S 55	青年水産教室	* 沖縄県養殖漁業の展望について	一元水産研究所長	小林歌男		S 56年 2月24日	名護市	45名	
		* 糸満漁業の歴史と明日の水産業	沖水高 教諭	上田不二男		" 3月13日	糸満市	22名	
		* 沿岸漁場利用について	琉大海洋学科助教授	西島信昇		" 3月31日	国頭村	17名	
S 56	青年水産教室 交流学習会	* 話し方について	話し方教室講師	加藤泰志		S 56年 11月 3日	糸満市	35名	
		* グループ活動について	喜屋武小学校長	大城藤之		"	"		
		* 漁業気象 (主として冬季季節風)について	沖縄気象台予報官	大城繁蔵		S 57年 1月28日	糸満市	57名	
		* 魚類養殖について	水試八重山支場	折田栄徳		S 57年 1月29日	名護市		
		* 栽培漁業と水産資源の管理培養対策について	日裁協常務理事	多和田貞周 屋代勝敏		S 56年 12月 8日	恩納村	70名	
S 57	青年水産教室	* 漁業権について	漁政課 主事	新城 博		S 57年 5月25日	恩納村ハイッ	57名	
		* 奄美におけるモズクの処理加工について	漁業者センター普及員	瀬底正武		"	"		
		* シラヒゲウニの種苗生産について	沖水高 教諭	石垣三男		S 57年 6月22日	読谷村漁協	27名	
		* トビロープ曳漁業について	伊江漁協	又吉久仁		S 57年 9月29日	本部町中央公民館	45名	(故人)
		* ヒジキの株移植について	漁業者センター普及員	瀬底正武		"	"		
		* クビレヅタ (海ぶどう) の増養殖について	宮古支所普及員	仲間 勲		S 57年 11月 8日	平良市久松公民館	45名	
		* 水産業と市町村行政について	沖水高 教諭	上田不二夫		S 58年 2月 4日	漁業者センター	35名	

年度	事業名	課題	所属	人名	実施時期	実施場所	参加人数	備考
S57	交流学習会	* 漁村青年部活動と連合会組織について * 多獲性魚（トビウオ、トビイカ）の加工について * 漁業経営における漁協の役割について	長崎県漁連漁政課長 石川県水産技術士 宮古支庁普及員	吉田忠雄 長嶺 敏	S58年3月11日 S57年7月5～6日 S58年1月18日	那覇市自治会館 県水産試験場 平 良 市	100名 21名	
S58	青年水産教室 交流学習会	* 協同組合について * 栽培漁業について * 沖繩の養殖漁業について * サング礁の発達と沖繩の地形について * グループリーダーの育成について * アゴ（トビウオ）2そう曳漁業について * 漁業協同組合をめぐる今日の課題	県漁政課金融係係長 県水産試験場長 農水開発代表者 琉球大学助教授 鹿児島県 専 技 鹿児島県与論町 トビウオ漁業研究会長 鹿児島県漁連漁政対策課 難波義彦	北村盛武 伊佐次郎 新崎盛謙 目崎茂和	S58年9月29日 S58年11月30日 “ S59年1月27日 “ “ S59年2月20日 S59年2月21日	本部漁民センター 海技専門学校 “ 海技専門学校 “ “ 漁業者センター 本部漁民センター	69名 50名 60名 64名 75名	
S59	青年水産教室	* クレベツタ養殖について * 金融と漁業について * 種苗生産の現状と将来について	漁業者センター主任技師 県漁業信用基金協会専務 奥間徳五郎 県栽培センター主任研究員 島袋新功	仲間勲 奥間徳五郎 島袋新功	S59年5月1日 S59年5月31日 “	県漁連会議室 “ “	28名 43名	

年度	事業名	課題	所属	所属名	実施時期	実施場所	参加人数	備考
S59	交流学習会	* 海図の見方について	海上保安庁	丸山明夫	S59年8月12日	石垣市	41名	
		* 浅海漁場とその利用について	琉大海洋学科助教授	諸喜田茂充	S59年8月17日	北中城村(公民館)	45名	
		* 沖縄の漁業と流通について	沖水高 教諭	上田不二夫	S59年10月16日	本部漁協会議室	59名	
		* カラー魚探の取扱いについて	古野電気	堤 和良	S59年12月20日	伊良部漁協会議室	25名	
		* 漁業協同組合をめぐる今日的課題	全共済鹿児島県事務所次長	難波義彦	S59年9月19日	石川漁協会議室	58名	
		* 魚の鮮度保持と流通について	日本魚類保鮮研究会員	谷口徳正	" " 20日 S60年2月1日	平良市漁協会議室 那 覇 市	28名 80名	
S60	青年水産教室	* 漁業者の健康管理について(潜水病)	琉大医学部助教授	湯浅柞子	S60年5月	沖縄海技専門学院	11名	
		* 漁協の現状と今後の課題	名護漁協長	宮城慶三	S60年7月	金武漁協会議室	57名	
		* 漁業気象と天気図の見方	沖縄気象台予報課	座間味忠	S60年9月	知念村漁協会議室	32名	
	交流学習会	* 青年部活動とリーダーの育成	糸満青年の家所長	諸見謝幸一	S60年12月	糸満青年の家	23名	
		* 漁協青年部の活動について	長崎県漁青連会長	川添 繁	S61年2月	金武漁協	40名	
S61	青年水産教室	* 私の組合運動と生産管理について	伊平屋村漁協長	西銘仁正	S61年6月12日	石川漁協会議室	61名	
		* マグロ釣魚具漁法	神奈川県 専 技	池田義明	S61年11月3日 " " 4日 " " 5日	糸満漁協会議室 平良市漁協会議室 石 垣 市	150名 32名 40名	
					S62年2月17日	八重山支庁	30名	
	交流学習会	* 漁業協同組合をめぐる今日的課題	全共済鹿児島県事務所次長	難波義彦	S62年3月30日	平良市漁協会議室	25名	
		* 栽培漁業と資源管理型漁業について	日裁協八重山事業場主任	伏見 浩				

年度	事業名	課題	所	属	名	実施時期	実施場所	参加人数	備考
S62	青年水産教室	* 漁業協同組合活動について	糸満漁協	王城盛勝		S62年6月30日	糸満漁協会議室	23名	
		* 漁協青年部実践活動について	宮城県漁協青年団体連絡協議会 会長 及川道男			S63年1月12日	水産会館	300名	
	交流学習会	* 水産物の付加価値の向上について	千葉県千倉町南部漁協 植木泰滋			S62年8月26日	恩納村瀬良垣荘	52名	
S63	青年水産教室	* さんご礁海域の栽培漁業について	琉大海洋学科助教授	諸喜田茂充		S63年6月14日	恩納村コミュニティセンター	45名	
		* 青年部の実践活動について	鹿児島県漁青連顧問	川端三郎		H元年1月27日	水産会館	319名	
	交流学習会	* 漁場の自主管理について	愛媛県遊子漁協 古谷和男			S63年8月29日 " " 30日	恩納ハイッ 八重山支庁	54名 55名	
H元年	青年水産教室	* 水産物流通の現状と将来について	沖興フーズ社長	金城興太郎		H2年3月23日	水産業改良普及所	24名	
		* 青年部実践活動について	長崎県漁青連会長	木場裕士		H2年1月17日	水産会館	252名	
		* 水産物の流通について (特に県外出荷にさいして)	大都魚類副部長	竹内賢相		H2年2月13日 " " "	糸満漁協会議室 平良市 石垣市 名護市 平良市 石垣市	49名 19名 48名 47名 29名 57名	
	交流学習会	* 資源管理型漁業の実践について	神奈川県横浜漁市漁協専務	天田茂		H元年11月27日 " " 28日 " " 29日			
	漁家経営改善 指導事業 講習会	* 海面養殖の生産管理と経営	愛知県 専技	岩田静昌		S63年3月16日 " " 17日	沖縄市 本郷市 平良市		
		* 営漁簿の記帳方法とその実践	徳用水産会計主任 (税理士)	奈良俊一郎		S63年7月			
		* 漁業経営について	徳用水産会計主任	"		H2年3月23日	水産業改良普及所	19名	